

公益社団法人日本技術士会 CPD行事実施報告書

開始日時	平成27年3月28日(土)	14時00分
終了日時	平成27年3月28日(土)	17時00分
名称	第23回CPD防災研修会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市ビジネス支援センター きぼーる 13階 会議室3	
行事内容	支部長挨拶 講演1「防災、災害情報を10倍活用する方法」 講師:秋田 義一氏(技術士 情報工学 部門) 講演2「土砂災害への備え」 講師:上野 雄一氏(技術士 総合技術管理・建設 部門) 閉会	14:00~14:10 14:10~15:25 15:35~16:55 17:00
参加人数	45名	

第23回CPD研修会は、防災に関して二人の講師による講演を行った。

日本は有数の自然災害頻発国である。台風は毎年上陸し、水害、土砂災害は毎年どこかで発生している。また、地震も毎年発生し、数十年に1回の大地震、数百年、千年単位では巨大地震およびその伴い津波が発生している。災害の発生要因を知り、インフラの整備を行うことは重要であり、平時から災害に備えた心構え、避難等の準備・訓練は大変重要である。今回は、自然災害の発生要因とその対策について解り易く説明してもらった。

講演1は、災害列島で生活していくために、防災情報、災害情報の活かし方について考えてみたい。
・巨大地震は必ずやってくる ・過去の災害から学ぶ ・生き残るための心得・自助、共助、公助
・災害は忘れた頃にやってくるなどの項目についてテンポの良い講演であった。

講演2は、千葉県の地形・地質・気象及び斜面災害危険場所のほか都市部での土砂災害の事例など豊富な映像で紹介があった。

今回の講演を通して、備えあれば憂いなし、災害は忘れたころにやってくる、という思いで改めて災害について考える機会を得た研修となった。

